

慈光新春

本年行事予定

一月 一日 午前八時	修正会（元旦のお参り）
二月十五日 午後一時	定例法座
三月二十日 午後一時	春季彼岸会法要
四月十五日 午後一時	定例法座
五月十五日 午後一時	花まつり法座
六月十五日 午後一時	定例法座
七月十五日 午後一時	定例法座
八月十六日 午後一時	盂蘭盆会法要
九月八～九日	宗祖聖人報恩講法要
九月二十三日 午後一時	秋季彼岸会法要
十一月十五日 午後一時	定例法座
十一月十五日 午後一時	定例並びに大掃除

2008(平成20)

北広島市大曲緑ヶ丘2丁目16-1 011-376-2255

浄土真宗本願寺派 興徳寺

<http://www.bea.hi-ho.ne.jp/kentyan/>

南の島に生息するカンムリウミスズメという鳥がいる。この鳥は、羽根が退化し空を飛べず、海で生活する。小さなペンギンのようだ。卵は断崖の岩肌に産み、そこで雄雌、後退で暖める。孵化した雛をのこして親鳥は海へ戻り、下から雛を海へ来るよう呼ぶ。五十メートル断崖を雛は降りなければならない。恐ろしいのかなかなか降りる事が出来ない。親鳥は懸命に呼び続ける。雛は意を決したかのように飛び降りる。岩に体を打ちつけ、穴に落ちたら傷ついた体ではいざり上がる。親鳥は心配そうに海から見守っている。ようやく海に到達した雛だけが生きていける。途中でカニに食べられる雛もいる。上がれない雛もいる。親鳥はいつまでも待っているが、やがて来ないのがわかるのか、悲しそうに沖へ泳ぎ出す。自然の厳しさ、親の愛情を鳥から教えられる。子にモノを有り余るほど与え、親が、まるがかえの恵まれた生活、一方親が子を殺し、子が親を殺し、虐待も増え続ける時代、本当の愛情とは何なのか、子供を思うとは何なのか、親を思うとは何なのか、ウミスズメは人間に問うている・・・。